

# 第3話

## 仲間たちとの出会い編

### ～サギのヌーマとの出会い～

【これまでのあらすじ】

野川を流れてきた宮前メロンから生まれた「宮太郎」は、人々の役に立ちたいと、福祉課題に立ち向かう旅に出かけました。途中、馬の「マリーヌ」と出会い、地域の人たちと「買い物支援サービス」を旗揚げし、買い物に困るお年寄りの手助けをしました。

今回の第3話では、一体どんな仲間に出会えるのでしょうか・・・。

ある日、宮太郎が歩いていると、沼のほとりに立つサギを見つけました。

サギは見事な羽をもち、水面に映る自分の姿を見ていました。宮太郎が声をかけると、サギは得意気に羽を見せてきました。

「自分の羽が一番美しい、この羽があれば空高く飛びあがり遠くの景色まで見ることもできるんだ！」

そこで、宮太郎はサギにお願いしました。

「僕もその景色を見てみたい！君の背中に乗せて飛んでほしいでござる！！」

「もちろんだよ！喜んで！！」

そう言うとサギは宮太郎を乗せ、大空高く飛び立ちました。

宮太郎は初めて見る空からの景色に驚きました。

福祉のお寺も見えます。買い物支援サービスの旗振り役として活躍するマリーヌも見えます。

目を凝らすと、橋が見えその向こうには小さく犬の姿も見えました。

宮太郎はサギに言います。

「空の上からだと、いろんなものが見えてくる。いろんなことも知ることができ。その力を僕に貸してほしいでござる。僕と一緒に福祉の旅に出てほしいでござる！」

サギは答えました。

「僕の力を使って、一緒に旅を？うれしい！もちろんだよ。喜んで！！」

二人はにっこり笑って、メロンを分け合い食べました。

こうして、サギは宮太郎の仲間となり、二人が出会った鷺沼から名前をとって“ヌーマ”と皆から呼ばれるようになりました。

ヌーマは、大空を飛びいち早く情報を仕入れ宮太郎に伝えることを得意としました。宮太郎は、その情報をかわら版『みやまへの福祉』にまとめ、「さぎどり情報」として広めて行きました。



第4話では、どんな仲間に出会えるのかな？首をなが〜くして！？待っててね。

※このお話はフィクションです。